

(検討対象品目一覧)

令和元年6月26日
令和元年度第4回安全対策調査会
資料2-2

資料No.	薬剤	効能・効果	対象となる原則禁忌	方針	「禁忌」が適切と判断した理由	関連学会の意見
2-3	①フェニレフリン塩酸塩 ②エチレフリン塩酸塩	①・各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療 ・発作性上室頻拍 ・局所麻酔時の作用延長 ②起立性低血圧、各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	禁忌	・海外添付文書において禁忌	・日本循環器学会 改訂案に対して異議なし。
2-4	オザグレルナトリウム	1. クモ膜下出血術後の脳血管攣縮およびこれに伴う脳虚血症状の改善 2. 脳血栓症(急性期)に伴う運動障害の改善	重篤な意識障害を伴う大梗塞の患者[大梗塞の患者は出血性脳梗塞が発現しやすい。]	禁忌	・現行の添付文書における禁忌の記載に包含されることが考えられるため。	・日本脳卒中学会 改訂案に賛同する。
2-5	スキサメニウム塩化物水和物	麻酔時の筋弛緩 気管内挿管時・骨折脱臼の整復時・喉頭痙攣の筋弛緩 精神神経科における電撃療法の際の筋弛緩 腹部腫瘍診断時	重症の熱傷、広範性挫滅性外傷、尿毒症、四肢麻痺、ジギタリス中毒の既往歴のある患者あるいは最近ジギタリスを投与されたことのある患者[血中カリウムの増加作用により、心停止をおこすおそれがある。]	「急性期後の重症の熱傷、急性期後の広範性挫滅性外傷、四肢麻痺のある患者」については禁忌	・海外添付文書において禁忌 ・ガイドラインにおいて禁忌	・日本麻酔科学会 改定案について適正であると判断した。
2-6	精製ツベルクリン	結核の診断に用いる。	・ツベルクリン反応検査においてツベルクリン反応が水ほう、壊死等の非常に強い反応を示したことがある者 ・上記に掲げる者のほか、ツベルクリン反応検査を行うことが不適当な状態にある者	禁忌	・海外添付文書において禁忌 ・類薬添付文書において禁忌	・日本感染症学会 ・日本結核病学会 ・日本呼吸器学会 ・日本小児科学会 ・日本内科学会 改訂案について、妥当と考える。